



2019年5月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年1月11日

上場会社名 株式会社 エムピーエス
 コード番号 1401 URL <http://www.homemakeup.co.jp/>

上場取引所 東 福

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 貴士

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 栗山 征樹

TEL 0836-54-1414

四半期報告書提出予定日 2019年1月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年5月期第2四半期の業績(2018年6月1日～2018年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年5月期第2四半期	1,682	20.3	160	3.9	186	1.5	126	2.6
2018年5月期第2四半期	1,398	15.6	167	21.8	189	13.0	129	16.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年5月期第2四半期	17.37	16.43
2018年5月期第2四半期	17.84	17.11

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年5月期第2四半期	2,920	1,960	67.1	269.06
2018年5月期	2,850	1,835	64.3	252.03

(参考) 自己資本 2019年5月期第2四半期 1,958百万円 2018年5月期 1,833百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首より適用しており、2018年5月期については、遡及処理後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年5月期		0.00		0.00	0.00
2019年5月期		0.00			
2019年5月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年5月期の業績予想(2018年6月1日～2019年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,400	12.7	405	30.1	438	14.0	300	5.2	41.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年5月期2Q	7,279,000 株	2018年5月期	7,275,000 株
期末自己株式数	2019年5月期2Q	株	2018年5月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年5月期2Q	7,275,874 株	2018年5月期2Q	7,275,000 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通しの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュフロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善等を背景に景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

しかしながら、天候不順や豪雨・台風などの自然災害、海外の政治情勢の不安定化等により株価や為替等の不安定な動きによる世界経済の不確実性の影響もあり、不透明感を払拭できない状況となっております。

当社が属する建設業界におきましては、政府の公共投資並びに民間投資は堅調に推移しているものの、施工を行う技術者不足が解消されていないことに加え、資材価格や労務費といった建設コストの高騰が工事収益を圧迫するなど厳しい状況も続いております。

このような状況の中、当社は、新たに2018年6月に仙台支店（宮城県）を設置するとともに、既存店におけるパートナー（工務店等）との関係強化に取り組み、受注拡大を図って参りました。また、原価低減と経費削減、工事採算性を重視した受注方針の徹底、施工管理と品質・技術の向上に努めるとともに、人材採用及び育成にも積極的に取り組み、業容拡大や収益力の向上等も図って参りました。

これらにより、当第2四半期累計期間における売上高は、パートナーとの関係強化継続における受注拡大を図った結果、各支店での受注額の増加により1,682,206千円（前年同期比20.3%増）となりました。売上総利益は、西日本豪雨や度重なる台風の影響による災害への対応に伴う費用の発生等がありましたが前年同期に対して増加しました。また、販売費及び一般管理費については、今後の積極的な支店展開に向けた人材採用投資に伴う人件費の増加等により営業利益は、160,808千円（前年同期比3.9%減）となりました。経常利益は、当社太陽光発電による売電収入23,453千円、外国社債に関する有価証券利息6,366千円のほか、減価償却費10,871千円、支払利息1,035千円の計上等により186,215千円（前年同期比1.5%減）、四半期純利益は、126,345千円（前年同期比2.6%減）となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

(ホームメイキャップ事業)

ホームメイキャップ事業におきましては、ホームメイキャップ工法による内外装リフォーム工事等の増加により、売上高は1,517,129千円（前年同期比22.9%増）となり、セグメント利益は災害への対応に伴う費用の発生等により244,187千円（前年同期比5.0%減）となりました。

(建築工事業)

建築工事業におきましては、新築及び改修工事等が増加したため、売上高は163,586千円（前年同期比0.5%増）となり、セグメント利益は23,040千円（前年同期比19.9%増）となりました。

(その他)

FC加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等で構成されるその他の事業におきましては、材料販売等の減少により、売上高は1,490千円（前年同期比1.4%減）となり、セグメント利益は143千円（前年同期比67.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における資産の部は、前事業年度末に比べ70,795千円増加し、2,920,920千円となりました。これは主に、完成工事未収入金367,507千円の増加、未成工事支出金50,023千円の増加、売掛金35,898千円の増加、現金及び預金320,721千円の減少等によるものであります。

負債の部は、前事業年度末に比べ54,175千円減少し、960,047千円となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金33,530千円の減少、長期借入金10,606千円の減少、買掛金9,261千円の減少等によるものであります。

純資産の部は、前事業年度末に比べ124,971千円増加し、1,960,873千円となりました。これは主に、利益剰余金126,345千円の増加、その他有価証券評価差額金2,338千円の減少等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年7月9日に発表いたしました2019年5月期の業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年5月31日)	当第2四半期会計期間 (2018年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	761,521	440,799
受取手形	204,726	153,305
完成工事未収入金	420,745	788,252
売掛金	10,492	46,390
未成工事支出金	152,004	202,028
仕掛販売用不動産	6,464	6,464
原材料及び貯蔵品	42,831	14,534
その他	32,449	52,684
貸倒引当金	△6,633	△7,226
流動資産合計	1,624,602	1,697,234
固定資産		
有形固定資産		
土地	359,132	359,132
その他(純額)	260,717	243,134
有形固定資産合計	619,850	602,267
無形固定資産	22,049	19,647
投資その他の資産		
投資有価証券	289,200	285,836
その他	304,140	327,449
貸倒引当金	△9,718	△11,514
投資その他の資産合計	583,622	601,771
固定資産合計	1,225,522	1,223,686
資産合計	2,850,125	2,920,920
負債の部		
流動負債		
支払手形	203,055	232,689
工事未払金	175,330	256,585
買掛金	66,717	57,456
1年内返済予定の長期借入金	83,272	49,742
未払法人税等	72,102	72,006
完成工事補償引当金	19,455	23,566
その他	200,092	93,064
流動負債合計	820,025	785,110
固定負債		
長期借入金	144,816	134,210
その他	49,381	40,726
固定負債合計	194,197	174,936
負債合計	1,014,222	960,047

(単位:千円)

	前事業年度 (2018年5月31日)	当第2四半期会計期間 (2018年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	335,164	335,656
資本剰余金	343,931	344,422
利益剰余金	1,099,137	1,225,482
株主資本合計	1,778,232	1,905,561
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	55,270	52,931
評価・換算差額等合計	55,270	52,931
新株予約権	2,400	2,380
純資産合計	1,835,902	1,960,873
負債純資産合計	2,850,125	2,920,920

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2017年6月1日 至2017年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自2018年6月1日 至2018年11月30日)
売上高	1,398,677	1,682,206
売上原価	935,339	1,181,178
売上総利益	463,337	501,028
販売費及び一般管理費	295,960	340,219
営業利益	167,377	160,808
営業外収益		
不動産賃貸収入	2,440	3,834
有価証券利息	6,618	6,366
売電収入	22,656	23,453
その他	7,061	5,742
営業外収益合計	38,776	39,396
営業外費用		
支払利息	1,072	1,035
売電費用	1,736	991
減価償却費	12,168	10,871
その他	2,067	1,090
営業外費用合計	17,044	13,988
経常利益	189,110	186,215
税引前四半期純利益	189,110	186,215
法人税、住民税及び事業税	61,858	65,520
法人税等調整額	△2,522	△5,650
法人税等合計	59,336	59,870
四半期純利益	129,774	126,345

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2017年6月1日 至2017年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自2018年6月1日 至2018年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	189,110	186,215
減価償却費	18,137	21,085
貸倒引当金の増減額(△は減少)	260	2,388
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	4,161	4,110
受取利息及び受取配当金	△7,231	△6,888
支払利息	1,072	1,035
売上債権の増減額(△は増加)	△4,618	△351,984
たな卸資産の増減額(△は増加)	48,703	△21,727
仕入債務の増減額(△は減少)	△126,811	101,627
未成工事受入金の増減額(△は減少)	△137,098	△53,086
その他	△31,569	△69,546
小計	△45,884	△186,769
利息及び配当金の受取額	613	522
利息の支払額	△1,083	△1,032
法人税等の支払額	△53,490	△66,532
営業活動によるキャッシュ・フロー	△99,845	△253,812
投資活動によるキャッシュ・フロー		
保険積立金の積立による支出	△20,134	△21,285
有形固定資産の取得による支出	△1,267	-
無形固定資産の取得による支出	△13,385	-
貸付けによる支出	△14,000	-
貸付金の回収による収入	15,727	400
敷金及び保証金の差入による支出	△570	△538
敷金及び保証金の回収による収入	-	180
その他	△231	△300
投資活動によるキャッシュ・フロー	△33,860	△21,544
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△44,136	△44,136
リース債務の返済による支出	△1,545	△2,293
新株予約権の行使による株式の発行による収入	-	964
財務活動によるキャッシュ・フロー	△45,681	△45,465
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,199	100
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△178,188	△320,721
現金及び現金同等物の期首残高	871,759	761,521
現金及び現金同等物の四半期末残高	693,571	440,799

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 2017年6月1日 至 2017年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ホームメイキャ ップ事業	建築工事業	小計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,234,402	162,764	1,397,166	1,511	1,398,677
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,234,402	162,764	1,397,166	1,511	1,398,677
セグメント利益	257,140	19,222	276,362	441	276,804

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、FC加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	276,362
「その他」の区分の利益	441
全社費用(注)	△109,426
四半期損益計算書の営業利益	167,377

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ホームメイキャ ップ事業	建築工事業	小計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,517,129	163,586	1,680,716	1,490	1,682,206
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,517,129	163,586	1,680,716	1,490	1,682,206
セグメント利益	244,187	23,040	267,228	143	267,372

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、F C加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	267,228
「その他」の区分の利益	143
全社費用(注)	△106,563
四半期損益計算書の営業利益	160,808

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。